

公益財団法人 循環器病研究振興財団  
平成 27 年度事業報告書

平成 27 年度においては、助成事業、普及支援事業、国庫補助金事業、調査研究事業の 4 分野の事業を行った。

## 【1】助成事業

(138,560 千円)

### 1. 公募研究助成

(11,400 千円)

#### (1) バイエル循環器病研究助成

(10,000 千円)

【研究テーマ】動脈疾患と抗凝固療法

[応募数：19 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	動脈硬化リスクを有する慢性心不全患者に抗凝固療法が炎症性バイオマーカーに及ぼす影響についての前向き探索的臨床研究	高濱博幸	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 医師	2,500 千円
2	動脈硬化発症における FXa-PARs シグナルのマクロファージ活性化調節機構の解明	福田大受	徳島大学大学院医歯薬学研究部 循環器内科学分野 特任講師	2,500 千円
3	トロンビン活性化を促進する新しい凝固・血栓形成機構の解明	藤田佳子	信州大学医学部 生理学教室 助教	2,500 千円
4	アテローム血栓症の直接的抗凝固療法に繋がるプラークの血栓形成能の解明	山下 篤	宮崎大学医学部病理学講座 構造機能病態学分野 助教	2,500 千円

《研究発表会開催予定》 平成 28 年 9 月 23 日～25 日（第 64 回日本心臓病学会学術集会后）

#### (2) 循環器疾患看護研究助成

(800 千円)

[応募数：4 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	先天性心疾患を経験した思春期女性のリプロダクティブヘルスに関する質的研究 ～恋愛・結婚・妊娠・出産について抱く思い～	中村真由美	東京大学大学院医学系研究科 健康科学看護学専攻 家族看護学分野 大学院生 博士課程	200 千円
2	集中治療室の看護師における点滴管理に対する教育プログラムの評価 -安全な点滴管理行動の習慣化を目指して-	山田利恵	三菱京都病院 3 階病棟 看護師長	200 千円
3	循環器専門 A 病院における院内心肺蘇生に関する後ろ向き観察研究	上菌恵子	国立循環器病研究センター 医療安全管理室 医療安全管理者 看護師長	200 千円
4	左肋間開胸による人工血管置換術を受けた患者に対する NHF の効果	小澤周平	国立循環器病研究センター 看護部 看護師	200 千円

《研究発表会開催予定》 平成 28 年 12 月頃（国立循環器病研究センター内）

## (3) 日本光電循環器病研究助成

(600 千円)

- 【研究テーマ】 ①モニタのバイタルサイン管理における安全管理  
 ②人工呼吸器における安全管理  
 ③モニタとナースコール連携における安全管理

[応募数：4 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	ナースコールと連動した医用テレメーターシステム、及び携帯型受信機導入によるアラーム対応と業務改善の効果	中田祐二	高槻赤十字病院 医療技術部 臨床工学技士	200 千円
2	経皮的心肺補助法の静脈血採血における新たな安全対策	吉田幸太郎	国立循環器病研究センター 臨床工学部 臨床工学技士	200 千円
3	人工呼吸器の遠隔監視システムの開発	湊 拓巳	大阪医療センター 医療技術部 臨床工学室 臨床工学技士	200 千円

＜研究発表会開催予定＞ 平成 28 年 12 月頃（国立循環器病研究センター内）

## 2. 指定研究助成

(127,160 千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 800 千円 H31 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 4,900 千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 4,000 千円 H29 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁弁膜症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 2,000 千円 H28 終了予定
5	大動脈手術に関する感染症の検討	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	(継続) 3,200 千円 H28 終了予定

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
6	電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP)	今井 潤	東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座 教授	(継続) 1,600 千円 H27 終了
7	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任(名誉)教授	(継続) 27,308 千円 H29 終了予定
8	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) - 心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として -	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 2,000 千円 H29 終了予定
9	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 14,154 千円 H29 終了予定
10	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-II)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	(継続) 57,577 千円 H29 終了予定

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
11	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 1,900千円 H28終了予定
12	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010千円 H33終了予定
13	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710千円 H34終了予定

## 【2】普及支援事業

(11,845千円)

### 1. 研究成果発表

(1,428千円)

#### (1) 研究業績集の発行

(132千円)

前年度の指定研究助成および循環器疾患看護研究助成による研究成果をまとめて大学・研究所等へ配布

#### (2) 研究発表会の開催

(1,296千円)

研究発表会を開催し、前年度の公募研究助成（バイエル循環器病研究助成・循環器疾患看護研究助成・日本光電循環器病研究助成）の研究成果を発表

	内 容	内 容	助成金額
1	バイエル循環器病研究助成研究発表会	・テーマ： 深部静脈血栓症 ・会場： 第56回日本脈管学会総会（東京） ・日時： 平成27年10月30日（金）14:30~16:00	1,116千円
2	循環器疾患看護研究助成研究発表会（第12回） 日本光電循環器病研究助成研究発表会（第4回）	・会場： 国立循環器病研究センター・図書館講堂 ・日時： 平成27年12月4日（金）15:00~18:00 ・特別講演： 『不整脈診療今昔-すっかり変わってしまったなあー』 【講師】 鎌倉史郎 (国立循環器病研究センター臨床検査部長)	180千円

### 2. 学術活動支援

(1,900千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

(小規模研究)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
1	高血圧治療におけるレザルタスの有効性に関する研究	岩嶋義雄	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	950千円
2	D-SPECT 日本人正常マップ策定の為の多施設共同研究	木曾啓祐	国立循環器病研究センター 放射線部 医長	950千円

### 3. 移植医療支援等事業

(351 千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

		内 容	助成交付額
1	第 13 回心臓移植患者連絡会 (CoCoRo 会)	・会 長： 国立循環器病研究センター・理事長 橋本信夫 ・会 期： 平成27年11月14日（土） ・会 場： 国立循環器病研究センター	351 千円

### 4. 予防啓発活動

(8,166 千円)

#### (1) 小冊子

(7,764千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

	タ イ ト ル	執 筆 者	発 行 日
110	食塩と高血圧と循環器	河野雄平	平成 27 年 5 月 1 日
111	心房細動といわれたら-その原因と最新の治療法	鎌倉史郎 鎌倉 令	平成 27 年 7 月 1 日
112	脳卒中の言語リハビリテーション -家庭で効果を上げるには-	大島明子	平成 27 年 9 月 1 日
113	弁膜症外科治療の最前線	藤田知之 小林順二郎	平成 27 年 11 月 1 日
114	脳出血最新情報と対処法	吉村壮平	平成 28 年 1 月 1 日
115	肺炎・・・予防・治療のポイント	佐田 誠	平成 28 年 3 月 1 日

#### (2) 機関誌『季報』の発行

(135 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

#### (3) ホームページの運営 (<http://www.jcvrf.jp>)

(194 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

#### (4) 市民健康セミナー

(73 千円)

疾患ごとにテーマを決めて、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

		内 容
1	ダイワの健康セミナー 「認知症予防の秘訣」	・日 時： 平成27年11月18日（水）13：30～14：30 ・会 期： 北千里 dios 2階／レンタルスペース（ミーティングルームM2） ・講 師： 国立循環器病研究センター脳神経内科・医長 猪原匡史

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場のオーロラビジョン、ライナービジョンで財団のPRと予防啓発を行った。

(6) 共催・後援名義使用

(共催)

	催し物	主催者	日時・場所
1	第18回脳卒中市民シンポジウム 平成27年度脳卒中週間ポスター	公益社団法人日本脳卒中協会 理事長 山口武典	・平成27年5月31日(土) ・いわて県立情報交流センター
2	平成27年度第1回健康講演会 『生活習慣病予防のための正しい知識 と運動療法』	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏	・平成27年11月28日(土) ・国立循環器病研究センター講堂

(後援)

	催し物	主催者	日時・場所
3	第12回国循市民公開講座 『お母さんとこどもの心臓病 Part. 2』	国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫	・平成27年8月22日(土) ・梅田スカイビル
4	第13回国循市民公開講座 『みんなで防ごう動脈硬化! ~あなた とあなたの大切なひとのために~』	国立循環器病研究センター 理事長 橋本信夫	・平成28年1月23日(土) ・朝日生命ホール

【3】国庫補助金事業 (特別会計 I)

(8,551 千円)

(厚生労働科学研究推進事業費)

		内容	助成交付額
1	若手研究者育成活用事業	リサーチレジデント1名	3,807 千円
2	研究成果等普及啓発事業	・一般向け研究発表会(2件) ・研究者向け発表会1日間(30課題)	4,744 千円

【4】調査研究事業

(894,936 千円)

(557,658 千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・理事長	(継続) 407,337 千円 H30 終了予定
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサバンの有効性と安全性に関する登録観察研究(GENERAL)	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/国立循環器病研究センター・理事長	(新規) 126,411 千円 H31 終了予定
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR 前向き研究)	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長	(新規) 23,910 千円 H31 終了予定

(受託契約研究助成から調査研究事業に区分変更分)

(337,278千円)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	事 業 費
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究 (ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	(継続) 5,837千円 H30 終了予定
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討 (CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 187,755千円 H30 終了予定
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIA におけるリバロキサバンの投与開始時期に関する観察研究 (RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員/国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 134,298千円 H29 終了予定
7	定量 SPECT 機能画像計算パッケージの一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 9,387千円 H28 終了予定

(注) 4～7の研究は、従前、助成事業の受託契約研究助成に区分していたが、これらは受託契約による研究であるものの、研究者への助成を目的とする事業ではないことから、当期より財団の自主事業である調査研究事業に区分を変更したものである。